

## 湯河原中学校給食検討委員会（第1回） 会議概要

- 1 日時 令和元年12月24日（火）
- 2 場所 防災コミュニティーセンター 教育委員会大会議室
- 3 委員 湯河原中学校長、小学校長の代表、中学校PTAの代表、小学校PTAの代表、小学校栄養士の代表、教育委員会学校教育課長 学校教育課職員

### 案件（1）

#### 検討を始める経緯

#### アンケート調査について

#### 質問・意見等

##### 委員

「自校方式とはどのような方式ですか。」

##### 事務局

「中学校に給食室を設置し、給食を調理する方式です。」

##### 委員

「前回、給食検討委員会が中断した理由は何ですか。」

##### 事務局

「2回目のアンケートでデリバリー方式による給食実施について行ったところ、保護者の賛成はあったものの、児童生徒の賛成が少なく、誰のための給食かということになり、すぐ実施することは困難とし、継続検討することになりました。」

##### 委員

「アンケートのやり方ですが、先生が問いの内容を説明するのですか。」

##### 事務局

「先生に負担をかけたくないので問いに付記書きするなど工夫をしたいと思います。」

##### 委員

「給食時間を作るための日課の変更の問いについて、小学生は中学校の日課など知らないの  
で、設問の回答が難しいのではないですか。」

##### 事務局

「設問の最初に『中学校では』を入れます。始業時間を早くする項目では、『今の始業時間は午前8時20分です。』と付記書きいたします。授業時間以外を少しずつ少なくする項目では、『休み時間を少なくするなど』と付記書きします。終業時間を遅くする項目では『今の終業時間は午後3時40分です。』と付記書きします。」

##### 委員

「個人的な意見ですが、自校調理方式の給食実施には反対です。現在の中学校の立地は津波などの災害に対し危険な立地だからです。その場所に恒久的な給食室を税金をかけて整備することは反対です。他で作ったものを、搬入するとかでいいと思います。よって、アンケー

トの『自校方式を柱』という部分が気になります。他の選択肢を含んだ表現にできませんか。給食の実施については皆さんが賛成であればそれでいいと思っています。」

事務局

「そのような考えがあることは承知しております。しかしながら自校方式以外の議論や、現在の校地に整備することについて議論していると給食が実施できません。県下の給食実施状況や保護者負担を軽減し、子育て支援をするなどの観点から給食を実施したいのです。ご理解をお願いします。」

委員

「アンケート実施の際の封筒は必要と思います。紙1枚だと、保護者の手に届かない可能性があります。」

事務局

「封筒は用意いたします。封筒にアンケートを入れ、配布いたします。」

委員

「アンケートの時期ですが、保護者会がありますので、その場でアンケートについて説明をし、その後にアンケート実施すると効果的だと思います。」

事務局

「その点も考慮して実施時期を決めたいと思います。」

委員

「実施の検討を進めるにあたり、いつ実施をめざしているなどがわかればやりやすいのですが。」

事務局

「アンケートの結果もありますが、いつを予定しているなどと申し上げると、うわさが先行してしまう可能性があります。アンケートの結果を受け、賛成が多ければ進めるということです。ただ、早く実施したいという気持ちでいます。」

事務局

「今回は早く調査したいと少し強引なところがあり申し訳なく思っています。今後は、委員の皆様の意見をお聞きしながら、ソフト的な部分の課題なども検討していきたいと思っています。」